

1. 事業説明シート

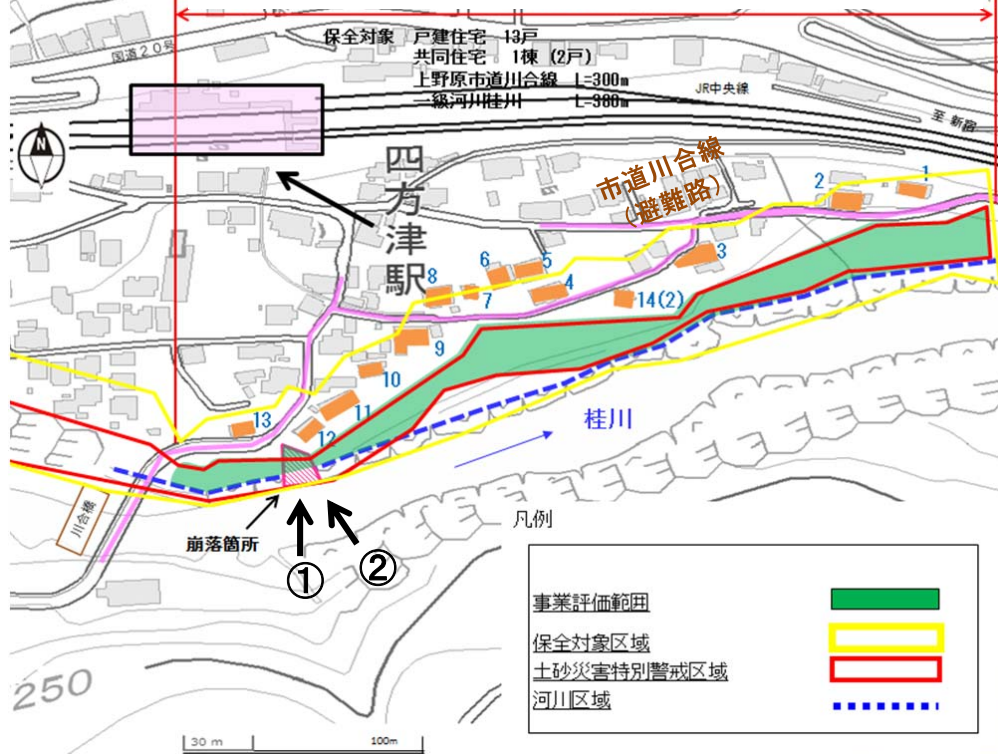
事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業（国補）]	事業箇所	上野原市 四方津	地区名	奥平の3（1期）	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
<p>①課題・背景 奥平の3（1期）地区は上野原市の桂川左岸に位置する急傾斜地である。当該斜面は平均斜面高23m、平均勾配49度であり、平成21年3月9日に土砂災害警戒区域に指定されている。平成30年3月に斜面の一部が崩壊し、人家や市道に被害がおよぶ恐れがあることから斜面対策が急務となっている。 保全対象：戸建住宅13戸、共同住宅1棟（2戸）（合計15戸）、上野原市道川合線L=300m、一級河川桂川L=380m</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：あり（平成30年3月24日斜面上部の崩落） ・保全対象：15戸>5戸以上※ ・土砂災害警戒区域における災害発生時の影響：有（市地域防災計画に定める自主防災組織（区）において設定した避難路） ※評価基準値</p> <p>□副次目標 — □副次効果 —</p>				<p style="text-align: right;">妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>保全対象に人家15戸及び公共施設（市道、一級河川）が存在することから社会的受益は大きく公共性が高い。</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第十二条に基づいており、県が行う事が妥当である。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>510 百万円</td> <td>工期</td> <td>H30~H39</td> <td>基準年</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>420 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">496 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>420 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">391 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">18 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害</td> <td colspan="2">87 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="4">1.2</td> </tr> </table> <p>費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>斜面の規模、地形状況から最も効果的な事業規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>斜面状況、周辺状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>設計に当たっては斜面緑化等、良好な自然環境の確保に十分配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地元市及び地域住民からの早期事業化に対する要請に基づいており、市から受益者負担金の同意は得られている。</p>				総事業費	510 百万円	工期	H30~H39	基準年	H30	経済効率性	費用	420 百万円	便益	496 百万円		建設費	420 百万円	一般資産被害	391 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	18 百万円				人身被害	87 百万円				その他※	百万円		B/C		1.2			
総事業費	510 百万円	工期	H30~H39	基準年	H30																																								
経済効率性	費用	420 百万円	便益	496 百万円																																									
	建設費	420 百万円	一般資産被害	391 百万円																																									
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	18 百万円																																									
			人身被害	87 百万円																																									
		その他※	百万円																																										
B/C		1.2																																											
(2) 整備内容				総合評価																																									
<p>①整備内容 吹付法枠工 A=10, 300m² 鉄筋挿入工 N=1, 980本</p> <p>②着手年度 平成30年度 ③完成見込年度 平成39年度</p> <p>④総事業費 510百万円（国費229.5百万円（4.5/10） 県費229.5百万円（4.5/10）市51百万円（1.0/10））</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>地形測量、地質調査</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>詳細設計、用地測量・取得</td> <td>25 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>吹付法枠工、鉄筋挿入工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>吹付法枠工、鉄筋挿入工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>吹付法枠工、鉄筋挿入工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成35年度</td> <td>吹付法枠工、鉄筋挿入工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成36年以降</td> <td>吹付法枠工、鉄筋挿入工</td> <td>235 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 なし</p>				平成30年度	地形測量、地質調査	10 百万円	平成31年度	詳細設計、用地測量・取得	25 百万円	平成32年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円	平成33年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円	平成34年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円	平成35年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円	平成36年以降	吹付法枠工、鉄筋挿入工	235 百万円	<p>[貢献度ランク：a]</p>																				
平成30年度	地形測量、地質調査	10 百万円																																											
平成31年度	詳細設計、用地測量・取得	25 百万円																																											
平成32年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円																																											
平成33年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円																																											
平成34年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円																																											
平成35年度	吹付法枠工、鉄筋挿入工	60 百万円																																											
平成36年以降	吹付法枠工、鉄筋挿入工	235 百万円																																											
				(4) 事業位置図等																																									
				 <p style="text-align: right;">N</p>																																									

2. 添付資料シート

【平面図】

全体計画延長 L=380m

吹付法枠工 A=10, 300m² 鉄筋挿入工 N=1, 980本



①崩壊状況(発生日 平成30年3月24日)



②斜面および保全対象



【標準横断面図】

桂川 河川区域

